

2013年1月1日～2020年12月31日の間に 膀胱炎の治療を受けられた方およびそのご家族の方へ

—「地域医療現場における尿路感染症（単純性膀胱炎）の治療実態 ～AMR アクションプラン
の達成度調査～」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
研究機関長 金澤 右
大塚 愛二

研究責任者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 瀬戸内（まるがめ）総合診療医学講座
准教授 萩谷 英大

研究分担者

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 総合内科学 教授 大塚 文男

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 岡山県北西部（新見）総合診療医学講座 准教授 花山 宜久

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 岡山県南（玉野）総合診療医学講座 教授 植田圭吾

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 瀬戸内（まるがめ）総合診療医学講座 助教 本多 寛之

岡山大学病院 総合内科・総合診療科 助教 中野 靖浩

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 地域医療人材育成講座 教授 小川弘子

岡山大学病院 ダイバーシティ推進センター 教授 片岡 仁美

岡山大学病院 薬剤部 薬剤師 東恩納 司

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

昨今、薬剤耐性菌が世界中に蔓延し、公衆衛生学的な脅威と考えられるようになりました。本邦では、薬剤耐性菌対策のために、2016年にAMR(Antimicrobial Resistnace)アクションプランが発出され、医療現場における抗菌薬適正使用の重要性が強調されてきました[1]。アクションプランでは、2013年に比べて2020年に抗菌薬使用量を削減することを大きな目標に掲げてきましたが、どの程度の削減効果があったのかいまだ不明です。医療保険データベース由来の全国調査は実施されておりますが、医療情報を欠いており、実際の医療現場の状況・情報を反映した膀胱炎症例に対する抗菌薬使用状況は分かっておりません[2]。本研究は、一般診療で頻繁に遭遇する尿路感染症、中でも膀胱炎にフォーカスし、抗菌薬処方実態を調査し、今後の抗菌薬適正使用の方策を模索するものです。

参考文献

[1] 薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン National Action Plan on Antimicrobial Resistance 2016-2020. <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000120769.pdf>

[2] Kusama Y, Ishikane M, Kihara T, Ohmagari N. Epidemiology of antibiotic treatment for uncomplicated cystitis in adults in Japan. J Infect Chemother. 2021 Jan;27(1):113-116.

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

尿路感染症における抗菌薬の適正使用状況を検討し、今後の薬剤耐性菌対策に役立つ情報とします。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2018年1月1日～2020年12月31日の間に岡山大学病院および共同研究機関で膀胱炎の治療を受けられた方（約500名）を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2021年12月31日

3) 研究方法

2018年1月1日～2020年12月31日の間に当院において膀胱炎の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに抗菌薬治療・尿検査のデータを選び、治療状況について調べます。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別
- ・ 尿検査・尿培養
- ・ 処方された抗菌薬

6) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院総合内科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2021年4月30日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にも不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

所属：瀬戸内（まるがめ）総合診療医学講座
職名：准教授 氏名：萩谷 英大
電話：086-235-7342（平日：9時00分～17時00分）
ファックス：086-235-7345

<研究組織>

研究代表機関名 岡山大学病院
研究代表責任者 瀬戸内（まるがめ）総合診療医学講座 准教授 萩谷 英大

【研究協力機関（情報の提供元機関）】

笠岡市民病院 院長 稲垣 登稔
玉野市民病院 院長 山原 茂裕
まるがめ医療センター 理事長 松本 祐藏
新見市国民健康保険 湯川診療所 所長 佐藤 有加
津山中央病院 薬剤部 春木祐人
岡山記念病院 院長 六車 昌士
成羽病院 院長 紙谷 晋吾